

## 家庭でできる防災対策

阪神淡路大震災では、死者の約8割が家屋の倒壊などによる圧迫・窒息死でした。また、倒壊した家屋の多くが昭和56年以前の古い建築基準で建てられた建物ということが分かっていきます。このようなことを教訓にして、まずは住んでいる家屋の耐震性を確認しましょう。



岡谷市では県と協力して「すまいる」の耐震診断を無料で行っています。詳しくは、都市計画課建築指導課（内線1372）まで。



### 家の中の安全を確保しましょう！

地震のときは家具やテレビが倒れたり、避難口をふさいだりする危険もありますので、壁に固定したり飛散防止措置などが必要で、

- ◆タンス・本棚・食器棚・テレビなどはL字金具や支え棒、粘着マットなどで柱や壁に固定する。また、上に水槽や花瓶など重い物を置かない。
- ◆窓ガラスには飛散防止フィルムを張る。
- ◆カーテンは防災加工されたものを使う。
- ◆ストープは対震自動消火機能のあるものを使用するなど。

### ポイント情報

#### 「配置を工夫して安全確保！」

夜中などの寝ているときに家具が倒れると大変危険です。寝室、子ども・高齢者・病人のいる部屋には、なるべく大きな家具などは置かないようにしましょう。また、避難の妨げになるので出入口や通路には物を置かないように！



### 耐震診断を受けましょう！



〔阪神・淡路大震災（神戸市中央区）〕

# 日頃の備え

# できているでしょうか？

昨年、梅雨前線による新潟・福井豪雨、観測史上最高となる台風の上陸による被害、さらには新潟県中越地震の発生など、考えられないほど多くの自然災害が日本列島を襲いました。岡谷市を含む諏訪地域も東海地震や糸魚川―静岡構造線による地震の危険性が叫ばれています。このような中、岡谷市では市民のみなさんと一緒に防災対策を進めるため、各区自主防災会への支援、防災体験パークや出前講座の開催、ホームページ（岡谷市防災BOX）での情報提供など様々な取り組みを行っています。また、広報おかやの紙面でも「防災情報おかや」と題し、みなさんに知って頂きたいことや身近な防災情報などをお伝えしていきます。ご家庭の防災対策の参考にしてください。自然災害は未然に防げませんが、日ごろの取り組みにより被害を少なくすることは可能です。ぜひ、防災対策を生活の一部に取り入れ、できることから積極的に取り組みましょう！